

第6次東成瀬村総合計画策定に向けた
ワークショップ結果報告書

令和7年4月

秋田県東成瀬村

目 次

1 目的と概要

(1) 目的

(2) 概要

- ① 開催日時
- ② 会場
- ③ 対象分野
- ④ ワークショップの内容

2 「移住」の部

(1) 実施内容

- ① 開催日時
- ② 会場
- ③ 参加者

(2) 実施結果

- ① 当日の様子
- ② ワークショップ結果

3 「農林水産、産業、生活環境」の部

(1) 実施内容

- ① 開催日時
- ② 会場
- ③ 参加者

(2) 実施結果

- ① 当日の様子
- ② ワークショップ結果

4 「教育・スポーツ、福祉・子育て」の部

(1) 実施内容

- ① 開催日時
- ② 会場
- ③ 参加者

(2) 実施結果

- ① 当日の様子
- ② ワークショップ結果

2 「住環境、地域」の部

(1) 実施内容

- ① 開催日時
- ② 会場
- ③ 参加者

(2) 実施結果

- ① 当日の様子
- ② ワークショップ結果

【参考資料】

「東成瀬村総合計画検討ワークショップ」スライド

1 目的と概要

(1) 目的

本ワークショップは、新しい総合計画の策定にあたり、村内の関係団体の皆さんの話し合いを通じて、これからの東成瀬村のまちづくりに向けた機運醸成と、次期計画の「村の将来像」、「基本目標」を策定するための提案をいただくため、実施しました。

「総合計画」についての概要や、現在進捗している第5次東成瀬村総合計画の進捗状況を確認していただいたうえで、「村の良さ」、「村の将来像」、「将来像に向けて具体的に考えられる取組」について話し合ってもらい、各回、各グループにおいて出た意見を本報告書に取りまとめました。

(2) 概要

① 開催日時

- ア 第1回 令和6年10月31日 13時30分～15時
- イ 第2回 令和6年11月8日 13時30分～15時
- ウ 第3回 令和6年11月15日 10時～12時
- エ 第4回 令和6年11月17日 11時～12時

② 会場

- ア～ウ・・・防災情報センター301、302 会議室
- エ・・・地域交流センターゆるるん

③ 対象分野

- ア 移住
- イ 農林水産、産業、生活環境
- ウ 教育・スポーツ、福祉・子育て
- エ 住環境・地域

④ ワークショップ内容

ワークショップは一つのテーブルに5～6名程度が着席し、一つのワークショップにつき、10名から35名程度で実施しました。司会進行の企画課担当職員によるスライドを使用した総合計画の概要と、現在の進捗状況の説明の後、3つの内容についてテーブル毎にワークショップを行い、出された意見を模造紙と付箋を用いてまとめていきました。

ワークショップの詳細な流れについては、以下の表のとおりです。

表1 ワークショップの詳細内容

項 目	詳 細 内 容
開会のあいさつ	・ワークショップ開催にあたって、企画課長からのあいさ

	つ
ワークショップの趣旨	・ 今回のワークショップを行う理由や、その意義については、総合計画の概要などを説明 ・ 参集された皆さんからの意見をもとに、次期総合計画の「将来像」、「基本目標」を策定していくことを説明
第5次総合計画における課題意識と現在の状況	・ 進捗している「第5次東成瀬村総合計画」の「第2章 村の概要」から、課題として認識している項目を説明 ・ 上記の課題に対応するべく「基本目標」及び「基本計画」が策定されていることを説明 ・ 第5次東成瀬村総合計画、「1 豊かな自然を活用した特色ある産業づくり」の各取組施策実績について、R5年度末で、進捗率が75%以上のものを「進んでいる分野」として、進捗率が25%未満のものを「停滞している分野」として明示し、取組施策の例を説明
ワークショップ1	・ 村の良さ、村らしさについてワークショップを実施 ・ その中での気づきや発言を模造紙と付箋を使い、共有
ワークショップ2	・ 前段を受けて、「10年後の東成瀬村（将来像）」についてワークショップを実施 ・ 現在の良さを伸ばす点と、課題を克服する点で整理
ワークショップ3	・ 前段を受けて、その将来像に向けてどのような取組ができるのか、「村民」と「行政」の視点で話し合いを実施

2 「移住」の部

(1) 実施内容

① 開催日時

令和6年10月31日（木） 午後13時30分から午後15時

② 会場

東成瀬村防災情報センター3階 301、302 会議室

③ 参加者

移住者（東成瀬テックソリューションズ株式会社社員 35名）

(2) 実施結果

① 当日の様子



② ワークショップ結果

ア 東成瀬村に住んでよかったところ、村らしさ

テーマ	区 分	意 見
東成瀬村に住んでよかったところ、村らしさ	自然・農業	星が綺麗
		絶景が多い
		夜が静か
		静かな環境
		自然が豊か
		常に大自然に囲まれている
		動物がたくさんいる
		空気が綺麗
		雪が降る
		川遊びができる
		夜の散歩がしやすい
	教育・保育	教育・保育環境が充実しているから安心して子育てができる
		教育レベルが高い
		子供一人ひとりに目が行き届いている教育
		子育て制度が整っている
		給食費がタダ
		保育料が安い（都心は所得額が高くなると保育料も高い）
	地域・コミュニティ	地区の人が暖かい
		人口密度が少ない
		人との距離感が近い
		名前を覚えてもらう
		地域にお祭りがあって参加しやすい
		高齢者と子供との交流がある
	観光・産業	温泉入浴料が安い
		スキー場がある
		お山の大将の唐揚げが美味しい
	食	お米、果物、野菜、きのこが豊富かつ立派で美味しい
		水が美味しい
		うちのドーナッツがある

		美味しい水が簡単に手に入る
		直売所が安い
	暮らし	無駄使いしなくなる
		固定費が低い
		物価が安い
		一人当たりのスペースが広い
		のんびりできる
		のびのびと遊べる
		ストレスフリーな生活ができる
		通勤時間が少ない
		車で移動するしかないので運転できるようになった
		生活コストが低い
		行政が事業などに協力してくれる
		治安がいい
	公共施設・環境	住宅が整備されている
		道路が綺麗
		除雪が上手
		混雑しない
		必要な施設がまとまっている
		車どおりが少ない
		自動車が少ないから運転が楽

イ 村の将来像（良さを引き伸ばす点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（良さを引き伸ばす点）	自然・農業	日本の癒しの村
		今の自然が残る村
		自然が豊かな村
		動植物が多様な村
		自然の溢れる村
		穴場の自然観光スポット
	教育・保育	教育がいい村
	地域・コミュニティ	移住者と村民が共創できる村
		年齢に関わらず人間関係が作れる村
		人と人とのつながりがある村

		交流が多い村
	観光・産業	イベントが多く熱量がある村
	暮らし	おいしいものがたくさんある村
		旬のものが食べられる村
		健康な人がたくさんいる村
		安心して暮らせる村
		心にゆとりが持てる村
	若者	若者を増やす村
		若者が暮らせる村
		若者が活躍できる村
	地域持続性	やりたいこと、夢が叶う村
		元気で活発的な村
		活気がある村
		子供がのびのび育つ村
		自然と人に優しい村
		地産地消で潤う村

ウ 村の将来像（課題を克服する点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（課題を克服する点）	自然・農業	農家が多い村
	教育・保育	高校・大学がある村
		子供が安心できる村
	観光・産業	新たな観光地になる村
		自然と先端技術が混ざり合った村
		観光地で人が集まる村
		観光客がたくさんいる村
		雪を活かしたイベント・お祭りがある村
		雪が名物な村
		自然に触れ合える村
		デジタル通信・ネットワークがある村

エ 村の将来像に向けて、その良さ引き伸ばす取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
自然豊かな村	自然・農業	いいスポットの共有	森林の保護活動

自然の溢れる村		ゴミを道に捨てない	自然保護活動
子供手当が充実している村	教育・保育	多忙の際に面倒を見てくれる	子供に対して教育に対して払ったお金が返ってくる
村内イベントがたくさんある村	観光・産業	イベント企画	予算の確保
人生コスパNo1	暮らし	無駄に資源を消費しない	村民手当、村民割がさらに充実
若い人がたくさんいる村	地域持続性	働く場所を作る	-

オ 村の将来像に向けて、その課題を克服していく取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
仕事・職種が多い村	観光・産業	事業活動	企業誘致
近くにいろんな買い物ができる場所がある村	暮らし	意見要望を上げる	予算を組む
住みたい村No1	地域持続性	ワークショップ参加	住民がやりたいことを実現するための環境を整備する
出会いのある村	地域持続性	会場の準備	飲食費を補助する
子供が多い村	地域持続性	出会いの場を増やす	子育て支援

3 「農林水産、産業、生活環境」の部

(1) 実施内容

① 開催日時

令和6年11月8日（金） 午後13時30分から午後15時

② 会場

東成瀬村防災情報センター3階 301、302 会議室

③ 参加者

（農林水産）

- ・東成瀬村農業生産法人連絡協議会長 柳龍二さん
- ・東成瀬村和牛改良組合長 佐々木誠一さん
- ・雄勝広域森林組合長（代理：佐々木さん）

（産業）

- ・東成瀬村商工会長（代理：石川さん）
- ・東成瀬村観光物産協会長 谷藤司さん
- ・東成瀬村宿活性化協議会長 鈴木実さん
（生活環境）
- ・東成瀬村防犯協会長 鈴木一也さん
- ・東成瀬村防犯指導隊長 佐々木広さん
- ・東成瀬村交通指導隊長 鈴木春一さん
- ・東成瀬村環境監視員 佐々木國夫さん

【欠席】

- ・東成瀬村田畑会長 佐藤龍太郎さん
- ・J Aこまち東成瀬支店長 高橋陽子さん
- ・東成瀬消防団長 鈴木修さん

（２） 実施結果

① 当日の様子





② ワークショップ結果

ア 東成瀬村に住んでよかったところ、村らしさ

テーマ	区 分	意 見
東成瀬村に住んでよかったところ、村らしさ	自然・農業	紅葉が綺麗
		家の近くに滝がある
		自然が豊か
		空気が綺麗
		水が綺麗
		蛭がいる
		雪が多い
		星空が綺麗
		四季が豊か
		国定公園がある須川湖
		農業が盛ん
		喝水にならないため農業環境が整っている
	教育・保育	子育ての充実
		教育が充実している
		学力が高い
		子どもたちが礼儀正しい
	地域・コミュニティ	人との繋がりが密
		村民同士の交流が多い
		人が温かい
		みんな若々しい
		近所の付き合いがいい
		村民の顔がわかる、村が小さいから

		地区ごとの特徴がある
	観光・産業	スキー場・パークゴルフが整備されている
		川遊びができる
		仙人修行
	食	野菜が美味しい
		お米が美味しい
		水が美味しい
		美味しい水が簡単に手に入る
		野菜が安い
		山菜が取れる
		山菜が豊富、おいしい
	暮らし	人が少ない
		村民の意識が向上しているのかゴミの不法投棄が減ってきた
		村の支援が豊富
		見回り活動が行き届いている
		大きな犯罪が少ない
	公共施設、環境	交通事故が少ない
		交通量の割には事故が少ない
		除雪が良い
		除雪が素晴らしい
		道路整備がいい
		上下水道が整備されている
		混雑しない
		信号機で停まらない
	福祉	全県でも福祉について整っていると旨を張って断言できる
	移住・定住	昨年より移住支援の発足によって移住者が増えた

イ 村の将来像（良さを引き伸ばす点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（良さを引き	自然・農業	熊被害ゼロ、人里に降りてこない対策のでき

伸ばす点)		た村
		自然や動物たちと豊かに暮らす村
	教育・保育	子育て支援に特化した村
	観光・産業	温泉がたくさんある村
		自然アクティビティがある村
	暮らし	村民のコミュニケーションが円滑でチームワークがある村
		若々しく、常に健康な人たちに溢れた村
	公共施設、環境	火災のない村
		交通事故が0な村
		土砂災害のない村

ウ 村の将来像（課題を克服する点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（課題を克服する点）	自然・農業	川魚の養殖が盛んな村
		赤べこ生産者の効率化・自動化ができた村
		山の所有者の境界が明確で林業を行う体制が整っている村
		リンドウの整備、山に入るための環境づくりができた村
		新規就農者を増やすための機械化、仕組み化が整った村
		スマート農業によって魅力のある農業を行いたい新規就農者が多い村
		労力の省力化ができた村
		スマート農業のできた村
		農作放棄地が活用された村
		休耕田畑のない村
	地域・コミュニティ	村のシルバー人材バンクが活性化している村
	観光・産業	事業所（店舗）が増加している村
		観光等で多くの人に来てくれる村
		観光施設が増加した村
		交流人口を増やす施設が完成している村

		観光客が多く訪れる村
		特産物がたくさんある村
		他から訪れた人が立ち寄れる村
		ダムを有効活用した村
		起業しやすい村
	暮らし	ラーメン屋がある村
		ドラッグストアがある村
		コインランドリーがある村
		お酒を扱う店がある村
		人口が 3000 人、うちこともが 3 割の村
	公共施設・環境	スキー場の経営が安定した村
		街の機能が整理されている村
		人口減少に伴い、公共交通機関に民間の力を取り入れた村
		高齢者の交通が充実した村
		移動手段が多様化した村
	地域持続性	子供から大人まで活気のある村
		子どもがたくさんいる村

エ 村の将来像に向けて、その良さ引き伸ばす取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
赤べこブランドの向上	自然・農業	管理体制の自動化 機械化	管理体制の自動化 機械化
観光を含めた事業所の多い村	観光・産業	6 次産業化	補助金を出す
災害がない村	公共施設、環境	パトロール体制の 強化	水路の整備

オ 村の将来像に向けて、その課題を克服していく取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
林道の整備・境界線が決定している村	自然・農業	-	境界の決定のための 立ち会い・段取り
コインランドリーがある村	暮らし	起業する	経営に対して補助

			金を支給する
--	--	--	--------

4 「教育・スポーツ、福祉・子育て」の部

(1) 実施内容

① 開催日時

令和6年11月8日（金） 午後13時30分から午後15時

② 会場

東成瀬村防災情報センター3階 301、302 会議室

③ 参加者

（教育）

- ・東成瀬中学校 PTA 会長 佐々木年子喜さん
- ・東成瀬村芸術文化協会 会長 佐々木省吾さん
- ・東成瀬村スポーツ協会 会長（代理：伊勢谷さん）

（福祉・子育て）

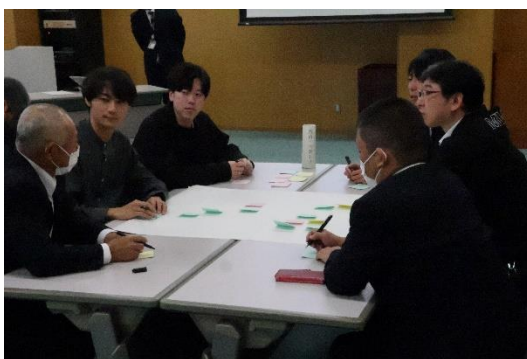
- ・東成瀬村老人クラブ連合会 会長 谷藤怜子さん
- ・東成瀬シルバーバンク 会長（代理：土谷さん、高橋さん）
- ・東成瀬村社会福祉協議会 会長 佐藤正次郎さん

【欠席】

- ・東成瀬小学校 PTA 会長 高橋和美さん
- ・なるせ保育園 園長 高橋美香さん

(2) 実施結果

① 当日の様子





② ワークショップ結果

ア 東成瀬村に住んでよかったところ、村らしさ

テーマ	区分	意見
東成瀬村に住んで良かったところ、村らしさ	自然・農業	自然の中でのびのび遊べる
		手つかずの自然がある
		自然が美しい
		自然環境が豊か
		紅葉が綺麗
	教育・保育	スポーツを通じた地域のつながりがある（地域ごとの野球チームがあった）
		いじめなど聞かない
		スポーツなどに注力できる
		教育レベルが高い
		学力が高い
		図書の充実
		子育て手当が充実している
		村長が子どもに会いに来る
		老人クラブ等でスポーツを推進
	地域・コミュ	隣近所とのつながりがある

	ニティ	集落施設が近くにある自由に使える
		コミュニティ活動が盛んである
		地域内の人のつながりがいい
		村・集落が皆家族という感じ
	観光・産業	直売所で安い新鮮なものが売っている
		仙人修行
	食	美味しいものがいっぱいある
		山菜・きのこが豊富
		水が美味しい
		しいたけがおいしい
	暮らし	飢え死にせず生きられる（近隣住民との助けなど）
		物価が安い
		のびのびと暮らせる
		災害が少ない
		子どもの笑顔、元気な挨拶
		人との距離が近い
		人が優しい
		人付き合いの場が自然発生している
		良い意味で開放的
		元気な人たちが色々活動している
	公共施設、環境	道路改良が進み行動範囲が広がって付き合いが広がり友人が増える
		冬季における道路の除雪について他の市町村よりも進んでいる

イ 村の将来像（良さを引き伸ばす点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（良さを引き伸ばす点）	教育・保育	子育てがしやすい村
	暮らし	地域の見守り体制がある村
		村民同士の繋がりが有る村
	公共施設、環境	テレワークなどの環境が整備された村
		村にいてもやりたい仕事ができる村
		必要なところに自由に行き来ができる村

		生活に魅力がある村
	福祉	健康で長生きできる村
		福祉が充実した村
	移住・定住	若者が住みたくなる村
		若者が集まる村

ウ 村の将来像（課題を克服する点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（課題を克服する点）	自然・農業	豊かな自然を生かし、ダムも含めて観光的な村
	観光・産業	村にいてもやりたい仕事ができる村
		仕事場が多い村
		仕事の選択肢がたくさんある村
		娯楽施設・レジャーがある村
	暮らし	生活可能な村
	公共施設、環境	住環境が整備され、雪に対応できる村
		アクセスしやすい村
		買い物や通院がしやすい村
		移動しやすい村
		テレワークなどの環境が整備された村
		必要なところに自由に行き来ができる村
	福祉	独居高齢者が少ない村
		高齢者が暮らしやすい村
		高齢者ハウスが充実している村
	夢、地域持続性	想いが引き継がれる村
		自立可能な村
		子供が元気のある村
		子供の遊んでいる声が聞こえる村
		子供の数が増える村
		子供がたくさんいる村
		人口を維持できている村

エ 村の将来像に向けて、その良さを引き伸ばす取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
健康で長生きできる村	福祉	高齢者への近所の見守り	オンラインでも参加できるようにする

オ 村の将来像に向けて、その課題を克服していく取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
仕事の選択肢が多い村	観光・産業	技術の継承（先輩農家等）	農業・林業の振興
生活に魅力がある村	公共施設、環境	日々の生活を発信する	－
人口の維持ができる村	夢、地域持続性	－	婚活支援
買い物や通院がしやすい村（移動がしやすい村）	公共施設、環境	行政に頼りっぱなしではなく、村民もできることをする	買い物・通院支援バス

5 「住環境・地域」の部

(1) 実施内容

① 開催日時

令和6年11月17日（日） 午前11時から正午

② 会場

地域交流センターゆるるん

③ 参加者

（住環境）

・東成瀬建設業協会長（代理：佐々木さん）

（地域）

・下田部落長 伊勢谷勝美さん

・平良部落長 平良昭二さん

・岩井川部落長 佐々木孝さん

・手倉部落長 菊地茂さん

・椿台部落長 鈴木充さん

・五里台部落長 高橋豊太郎さん

【欠席】

- ・田子内部落長 高橋義行さん
- ・滝ノ沢部落長 伊勢谷洋一さん
- ・肴沢、蛭川部落長 佐々木宏さん
- ・谷地部落長 高橋貞光さん
- ・天江部落長 高橋博喜さん
- ・大柳部落長 鈴木清一さん
- ・菅ノ台部落長 高橋和美さん

(2) 実施結果

① 当日の様子



② ワークショップ結果

ア 東成瀬村に住んでよかったところ、村らしさ

テーマ	区 分	意 見
東成瀬村に住んで良かったところ、村らしさ	自然・農業	静かで自然豊かな村
		山菜・きのこが豊富
	地域・コミュニティ	(コロナ禍前は) コミュニティが深かった
		地域の団結力がある
		部落経営がしっかりしている
		地域のつながりが良い
		部落での交流が多い
	食	水が美味しい
		安く食べ物が手に入る
	暮らし	村にいれば生きていける
		死亡事件が少ない
		交通事故が少ない

		他市町村に比べていろんな助成制度がある
		祭りがある（祭り時の一体感）
		行政で細かいところまで目が行き届いている

イ 村の将来像（良さを引き伸ばす点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（良さを引き伸ばす点）	地域・コミュニティ	交流が多い村
		地域活動が盛んな村
	地域持続性	多世代で交流する村
		やりたいことが見つかる、提供される村
		住み続ける人達が住んでよかったと思える村

ウ 村の将来像（課題を克服する点）

テーマ	区 分	村の将来像
村の将来像（課題を克服する点）	地域・コミュニティ	役場と部落の連携が取れた村
	観光・産業	雪をエネルギーに変える村
		事業継承ができた村
	暮らし	雪を負担に感じない村
	公共施設・環境	住環境が整備されている村
		生活環境が整備された村
		冬季間の移住が柔軟に選択できる村（期間集合住宅）
		アクセスしやすい村
		公共交通がもっと楽にできる村
		交通の利便性、多様なインフラがある村
		コンパクト化した村
	移住・定住	自治体の住み方等のマニュアルが整備された村
		移住者の指導が行き届いている村
	地域持続性	新しく来た人、村で生まれた人が残る村
		若い人たちが村に残りやすい村

		村からあるもの（財産）を守る村
		移住者も含め、住民として自覚を持つ村
		最期に幸せと思える村

エ 村の将来像に向けて、その良さを引き伸ばす取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
交流のある村	地域持続性	若い人（地域おこし協力隊）が村に定住する	ダム事業者等の村に関係した方が、残りたいと思える制度

オ 村の将来像に向けて、その課題を克服していく取り組み

村の将来像	区 分	村民ができること	行政ができること
移住者が地域と共創した村		地域活動の積極的な参加	お互いの情報交換

【参考資料】



東成瀬村総合計画 検討ワークショップ^o

令和6年11月

次 第

- ・ 開会の挨拶
- ・ ワークショップの趣旨
- ・ 第5次総合計画における課題意識と現在までの実績
- ・ ワークショップ1（村の良さ、村らしさとはどんなところ？）
- ・ ワークショップ2（10年後の東成瀬村はどんな村になってほしい？）
- ・ ワークショップ3（村の将来像に向けて取り組むべきことは？）



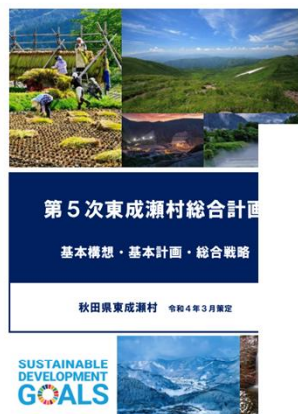
開会の挨拶



ワークショップの 主旨

本ワークショップを開催する意義

「第5次東成瀬村総合計画とは」



3 計画の見方

基本目標4 生きがい・健康・共に支え合う地域づくり

基本目標1 誰もが安心して暮らせる村づくり

基本戦略3 高齢者福祉

【現状と課題】

65歳以上の高齢者は住民全体の約40%と高齢化が進み、更に65歳以上の一人暮らし世帯が13.5世帯、65歳以上の高齢者のみの世帯が13.7世帯となっており、高齢化に伴い認知症高齢者も増加傾向で、一人暮らしの高齢者や天候ともに認知症である世帯への支援が必要となっています。

高齢者が安心して暮らせる環境の整備には、介護予防事業や健康づくり事業を実施し、高齢者にとって安全で安心な生活を送るための施策を講ずる必要があります。

介護保険制度の持続性確保を進め、ニーズに応じた高齢者福祉施設整備や在宅介護サービスの充実、在宅介護者への支援などの施策を図ります。

【取組計画と目標値】

(1) 高齢者の生活がいつく

項目	現状・数値	目標	備考
1 老人クラブ連合会・地区老人クラブの育成	老人クラブは活動する機会の創出や相談、集まりなどの交流事業、健康活動等を実施し、老人クラブ活動の活性化を図る。また、新たに地区老人クラブの設立を促進します。	老人クラブ数 (令和2年度) 7クラブ	
2 シルバーバンクへの支援	高齢者の雇用、就業機会の創出を図るとともに、シルバーバンクの活動の活性化を図るよう支援します。	シルバーバンク数 (令和2年度) 10人	
3 健康促進グループ支援事業 (ふれあいいきいきサロン)	ふれあいいきいきサロンにおいて、高齢者同士の間で交流の場を設け、健康活動等を通じて生きがいと健康づくりの意識の向上を図るとともに、介護予防、認知症予防を図ります。	参加者数 (令和2年度) 312人	

【基本計画】

SDGsの該当する目標

基本施策に対する本村の現状と課題

基本施策における主要施策

基本施策における具体的な施策内容

令和7年度における目標数値または目標とする状況

令和2年度における現状値または状況

- 東成瀬村の将来像を掲げた計画
- 将来像を実現するための施策メニューを記載
- 具体的な数値目標も記載

◆第5次東成瀬村総合計画掲載URL

https://vill.higashinaruse.lg.jp/villager/village_government/jouhoukoukai/post-2216/

村民と行政の共通の目標として、むらづくりを進める上で根幹となる計画です。

- 村民の皆さんをはじめ、東成瀬村に関わるすべての人々と行政とで作り上げ、ともに推進していくもの。

基本目標1 豊かな自然を活用した特色ある産業づくり

基本計画1 豊かな自然と活力ある農村づくり

基本施策1 農業振興
(生産性の向上と基盤整備)



■現状と課題

村内のほぼ全域は整備後30年以上経過し、一部は未改良の状況であり、大型機械に対応した基盤整備が課題となっています。
農道や水路などの農業用施設は、日本型直接支払交付金（中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能支払交付金）制度の活用により管理されていますが、長寿命化に向けた改修や整備を行う必要があります。

■取組施策と目標値

(1) 生産性の向上への取組

番号	内容	目的・具体策	現状	目標
1	基盤面の拡大化など土地改良事業の推進	田や畑の事業を活用しながら、生産性を収益性の向上に向けた土地改良事業を推進します。	土地改良事業の実施 3件11,589千円 (令和2年度)	土地改良事業の実施 3件15,000千円
2	土地改良施設のきめ細やかな整備を支援	積算部分や作業道をきめ細やかな整備を支援します。	水田簡易整備事業（延べ） 14件608ha 24件694ha	水田簡易整備事業（延べ） 24件694ha
3	売れる農林畜産物の生産に係る基盤整備を支援	戦略作物の作付けを拡大するための基盤整備などを支援します。	助成金交付等 3件 (令和2年度)	継続 3件
4	循環型施設を活用した循環型農業の構築	循環型農業を推進し、有機資源の活用促進を図ります。	もみ殻焼炭出炭量 55,400t (令和2年度)	もみ殻焼炭出炭量 100,000t

(2) 道路・水路整備への取組

番号	内容	目的・具体策	現状	目標
1	農道の舗装や改良を推進	地域や管理組合などと連携を図りながら、日本型直接支払制度などを活用した維持補修や改良を推進します。	日本型直接支払交付金の活用 継続	継続
2	計画的な水路整備の推進	地域や管理組合などと連携を図りながら、日本型直接支払制度などを活用した維持補修や改良を推進します。	日本型直接支払交付金の活用 継続	継続

基本目標1 豊かな自然を活用した特色ある産業づくり

基本計画1 豊かな自然と活力ある農村づくり

基本施策1 農業振興
(高付加価値な農林畜産物の生産と消費の拡大)



■現状と課題

高付加価値な農林畜産物の生産拡大については、生産者のさらなる所得向上に向けて農林畜産物の生産から加工まで一体となった6次産業化を推進していく必要があります。
しかしながら、付加価値及び特産性の高い農作物は、生産者の高齢化などにより多様な品種で収穫、販売機会に減少していることから、コスト面及び組織的な生産への取組、作付面積の拡大などが課題となっています。

■取組施策と目標値

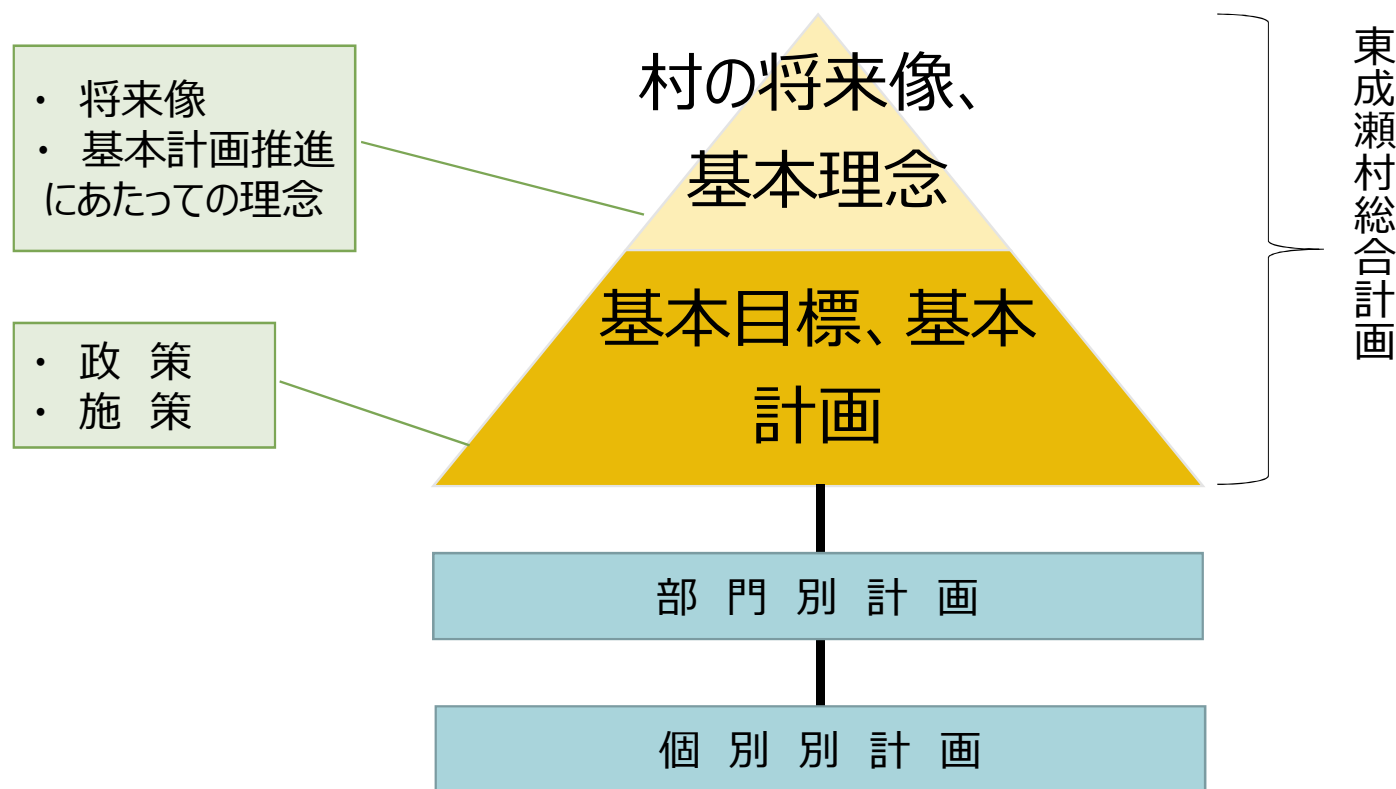
(1) 付加価値の高い農産物の生産拡大への取組

番号	内容	目的・具体策	現状	目標
1	新たな農産物の開発を推進	加工施設の充実を図るため、地域資源を活用した6次産業化への取組を支援します。	助成金交付等 2件 (令和2年度)	継続 2件
2	6次産業化を推進	村農林畜産物の生産から加工、販売までを一体的に行う事業展開を図り、地域資源を活用した売れる農林畜産物についての6次産業化への取組を支援します。	—	特産品生産加工施設 2件

(2) 地産地消拡大への取組

番号	内容	目的・具体策	現状	目標
1	観光・宿泊業と農業の連携強化	年間を通じた食料供給確保を図るため、給食施設や観光・宿泊施設などへの食料提供の拡充及び確保対策を推進します。	村内宿泊施設 継続	継続
2	直売所支援	地産地消の拡大を図るため、直売所の充実と提供者の確保に努めます。	直売所の会員 61人 (令和2年度)	直売所の会員 70人
3	食育の普及・活動・強化	福祉・教育などが一体となり、村内における農林畜産物の認知度向上や理解を深める食育を推進します。	ふるさと給食 4回	ふるさと給食 6回 農林畜産物に 触れあう体験 活動の創出 3回
4	特産品の作付けなど、地域ぐるみ型農業の推進	伝統的な地産地消の保護・継承を含めた取組を支援・推進します。	助成金交付等 2品目 (令和2年度)	継続 2品目

東成瀬村総合計画は、村政・むらづくりの最上位に位置づけられる計画です。



村民の方々の将来に対する想いと考えを、次の「第6次東成瀬村総合計画」に繋げたいと考えています。

・令和6年から令和8年をかけて作成

東成瀬村
総合計画

【第6次】

東成瀬村
総合計画

【第5次】

「次代」の
東成瀬村へ

本日は、皆さんが思い描く“**未来の東成瀬村**”
について、様々なアイデアを出し合っていただければ幸いです。

東成瀬村の魅力



東成瀬村への思い、願い

皆さんに出していただいたアイデアは、総合計画のうち、特に「基本構想」の将来像や基本目標の部分の検討材料とさせていただきます。

第1章 将来像・基本理念

1 村の将来像

本村は、栗駒国定公園を擁する奥羽山脈の麓にあり、厳しい自然環境の中、単独立村を目指しこれまで様々な施策に取り組んできました。

時代は、昭和、平成、令和となり、持続可能な社会を築く大切さが再認識されるなど、住民生活や自治体を取り巻く状況は大きく変化しており、デジタル化やエネルギー転換、多様性の尊重など、これまでと異なる考えや仕組みで現状を変えていくことが求められています。

現在、村は成瀬ダム建設事業により国勢調査人口は増加しておりますが、事業終了とともに大幅な人口減少が予想されています。こうした人口規模が縮小する中でもこれまでの人と環境にやさしい協働の村づくりを継承しつつ、地域資源をいかし、自然や経済、そして心にうるおいのある村づくりを目指します。

将来像

心にうるおいのある協働の村づくり

第2章 基本目標

1 村づくりの基本目標

基本理念である「心にうるおいのある協働の村づくり」に向けて次の6つの目標を掲げ、各種施策を展開します。

基本目標1 豊かな自然を活用した特色ある産業づくり

(1) 基本方針

農林業では、地域特性を活かした産地づくりを展開しながら、担い手の確保・育成を進めるとともに、ブランド化や高付加価値化の推進及び法人化による低コスト化・経営安定化を目指します。

商工業では、産業の強化や雇用の確保が必要であり、情報通信技術を活用した企業誘致や起業促進に加え、再生可能エネルギー開発支援など新たな産業の創出を目指します。

観光では、周辺地域と連携を図り広域的な誘客や国内外をターゲットにした誘客を実施するとともに、成瀬ダムを活用したインフラツーリズムの推進など新たな事業展開で交流人口の拡大を目指します。

(2) 基本計画

基本計画1 豊かな自然と活力ある農村づくり

基本計画2 活力と魅力のある産業づくり

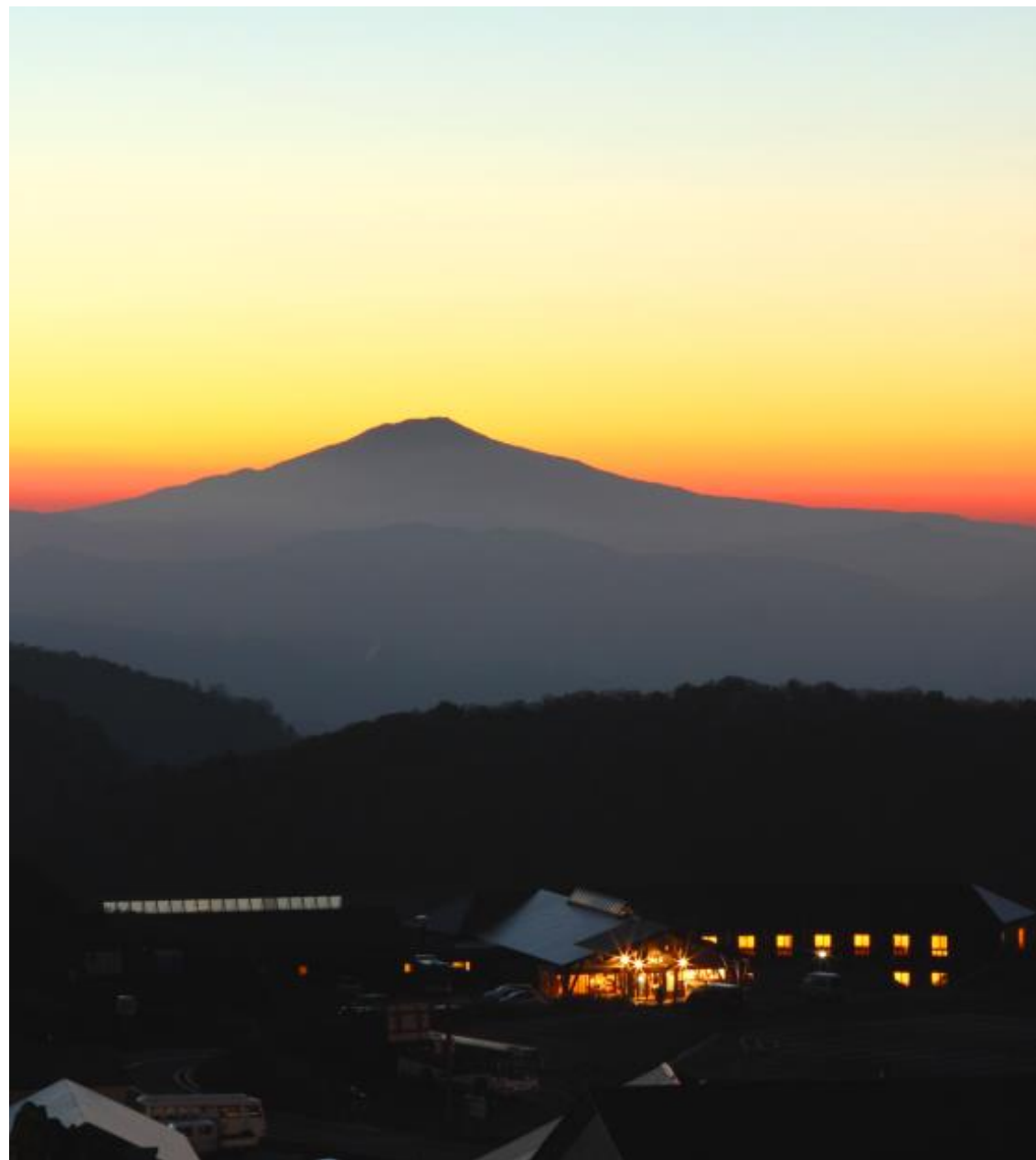
基本目標2 安全で安心して暮らしやすい環境づくり

(1) 基本方針

本村の消防体制は、広域市町村圏組合東成瀬分署の常備消防と村消防団の非常備消防が連携協力しながら、消防防災活動を展開します。

第5次東成瀬村総合計画における課題意識と現在の状況

第5次東成瀬村総合計画上の課題とこれに対する各基本目標に掲げた取組の状況について



第5次東成瀬村総合計画では以下の内容を課題として認識しています。

少子高齢化・人口減少への対応

- ・ 福祉や医療、公共交通などで時代の変化に対応すべき

地域経済の活性化

- ・ 後継者不足による農林業離れ
- ・ 地域資源を活用した加工施設、物産直売所の整備

地方分権の推進

- ・ 逼迫する地方財政により積極的に進められない

生活様式、価値観の多様化への対応

- ・ 村民の移動は公共交通でなく、自家用車が重要
- ・ 医療や通学といった移動手段への支援が必要

高度情報化への対応

- ・ 情報セキュリティの強化

地球温暖化への対応

- ・ 再生可能エネルギー導入の促進

防災対策の強化・充実

- ・ 災害被害最小限に向けた対策

人材育成の推進

- ・ 学習環境の整備
- ・ 郷土を愛する人材育成

まち・ひと・しごと創生の推進

- ・ 安定した雇用の創出、若い世代の結婚・出産・子育てを叶える
- ・ 地方への新しい人の流れをつくる

第5次東成瀬村総合計画では先ほどの課題に対して以下の「基本目標」を策定し、村では各「基本計画」をもとに施策に取り組んでいます。

1 豊かな自然を活用した特色ある村づくり

- ・豊かな自然と活力ある村づくり
- ・活力と魅力のある産業づくり

2 安全で安心して暮らしやすい環境づくり

- ・安心・安全な村づくり
- ・快適な生活を実感する地域づくり

3 郷土の発展を担う気概あふれる人づくり

- ・地域連携共に学び合う環境づくり
- ・心豊かな生きがい、自己実現の環境づくり

4 生きがいをもち共に支え合う地域づくり

- ・誰もが安心して過ごせる村づくり
- ・健康でいきいき暮らせる村づくり

5 人にやさしく住みよい基盤づくり

- ・住みよい環境づくり

3 人口減少に立ち向かう村づくり

- ・村への人の流れをつくる
- ・若い世代の結婚・出産・子育てをかなえる

第5次東成瀬村総合計画の中間実績 (R5年度末)

1 豊かな自然を活用した特色ある産業づくり

進んでいる分野（進捗率75%以上）

- （農業）
 - ・補助金事業による農作業の省人化や、体制整備
 - ・補助金事業による新規就農者の育成
 - ・農道舗装整備
 - ・地産地消に向けた直売所会員数の確保
- （畜産）
 - ・交付金を活用した採草放牧地の改良
- （林業）
 - ・森林経営計画に基づく森林整備活動の推進

停滞している分野（進捗率25%未満）

- （農業）
 - ・SNSやHPを活用した農林畜産物の販売取組
- （畜産）
 - ・補助金による優良牛の確保
 - ・イベントなどを通じたなるせ赤べこブランドの向上
- （林業）
 - ・木材苗のほ場整備
 - ・森林保存に向けた森林教室の実施

第5次東成瀬村総合計画の中間実績 (R5年度末)

2 安全で安心して暮らしやすい環境づくり

進んでいる分野（進捗率75%以上）

- （消防・防災）
 - ・消防団員確保
 - ・自主防災組織の充実
 - ・空き家等対策計画の策定
- （交通安全・防犯）
 - ・交通安全教室の実施
 - ・交通指導隊によるパトロール、街頭指導
 - ・防犯パトロールの実施

停滞している分野（進捗率25%未満）

（なし）

第5次東成瀬村総合計画の中間実績 (R5年度末)

3 郷土の発展を担う気概あふれる人づくり

進んでいる分野（進捗率75%以上）

- （学校教育）
 - ・ふるさと教育の充実
 - ・ICT端末の整備、活用
- （生涯教育）
 - ・体験活動教室の実施
- （社会教育）
 - ・体験教室、サークル、団体の育成、支援
- （芸術文化）
 - ・芸術文化団体の育成
- （文化財保護）
 - ・出土遺物の保護、活用
- （スポーツ振興）
 - ・スポーツ団体の育成

停滞している分野（進捗率25%未満）

- （学校教育）
 - ・集会活動を通じた国際理解教育の充実

第5次東成瀬村総合計画の中間実績 (R5年度末)

4 生きがいを持ち共に支え合う地域づくり

進んでいる分野（進捗率75%以上）

- （福祉）
 - ・シルバーバンク会員数の確保
 - ・地域住民グループ支援事業（いきいきサロン）の実施
 - ・高齢者世帯への外出支援
 - ・介護予防普及事業（脳活教室等）の実施
 - ・ヘルプマーク・カードの理解促進
- （健康・医療）
 - ・特定健診受診率の向上
 - ・食育教室の実施
 - ・患者輸送車の整備と運行

停滞している分野（進捗率25%未満）

- （福祉）
 - ・高齢者生活支援ハウスの整備
 - ・徘徊高齢者の早期発見を目的とした見守りシール交付（健康・福祉）
 - ・心の健康づくりを目的とした高齢者訪問

第5次東成瀬村総合計画の中間実績 (R5年度末)

5 人にやさしく住みよい基盤づくり

進んでいる分野（進捗率75%以上）

- （道路、橋りょう）
 - ・快適な交通に向けた道路改良
 - ・冬期交通の確保を目的とした除排雪体制構築
- （公共交通）
 - ・生活路線バスの維持
- （情報）
 - ・テレビ、ラジオ通信の確保
- （コミュニティ対策）
 - ・補助金による地域活動への支援
 - ・集会所や公園の充実

停滞している分野（進捗率25%未満）

- （道路・橋りょう）
 - ・冬期間の通行止め解消
- （公共交通）
 - ・新たな交通ネットワーク（手段）の検討
- （コミュニティ対策）
 - ・集落支援員の活用

第5次東成瀬村総合計画の中間実績 (R5年度末)

6 人口減少に立ち向かう村づくり

進んでいる分野（進捗率75%以上）

- （雇用創出）
 - ・就業資格取得支援事業の創設
 - ・特定地域づくり事業による雇用創出（移住・定住）
 - ・移住定住住宅整備
 - ・マイホーム取得支援事業による支援
 - ・地域おこし協力隊による移住施策の実施（少子化対策）
- ・小中学校学校給食費無償化
- ・奨学金貸付事業（子育て支援）
- ・なるせっ子夢センターの運営
- ・ひとり親家庭支援事業の実施

停滞している分野（進捗率25%未満）

- （少子化対策）
 - ・年間出生数（2件）

ワークショップ° 1 (村の良さ、村 らしさとはどんな ところ？)

東成瀬村に住んでいて、良かったところはどんなところ？ またほかには無い「東成瀬村らしさ」は何かについて話合います

15 分間

考えるにあたってのヒント

- これまでのライフステージごとに考える

子どものとき、学生のとき、大人のとき

- 場面ごとに考える

住むむらとして、働くむらとして、遊ぶむらとして

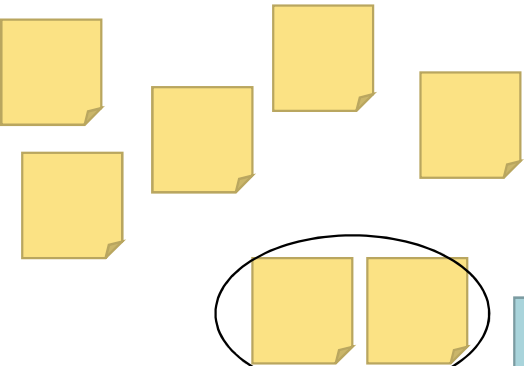
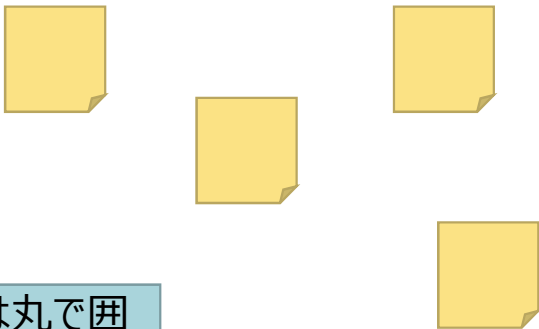
- 様々な視点から考える

もの、こと、場所、人

目の前の**模造紙**を使用してください。

①大きな枠を書いて、見出しを書いてください

②意見は付箋に書いて模造紙にはってください。
※一つの付箋に一つの意見を書いてください。
※話合いの中で思いついたことはどんどん書き出ししてください

東成瀬村に住んでよかったところ	ほかには無い「東成瀬村らしさ」
	

③似た意見は丸で囲うなどしてグルーピングしてください

ワークショップ° 2

（10年後の東成瀬村はどんな村になってほしい？）

「東成瀬村の理想の未来」について「10年後の東成瀬村」はどんな村になっていてほしいか話合います

15分間

考えるにあたってのヒント

- ワークショップ1 で出てきた魅力や「村らしさ」をさらに引き伸ばすことで考える
- 現在、不足している点や課題となっている点も考える（前出の第5次総合計画の実績も参考に）
- 考えに詰まったら以下の分野ごとに検討してみる

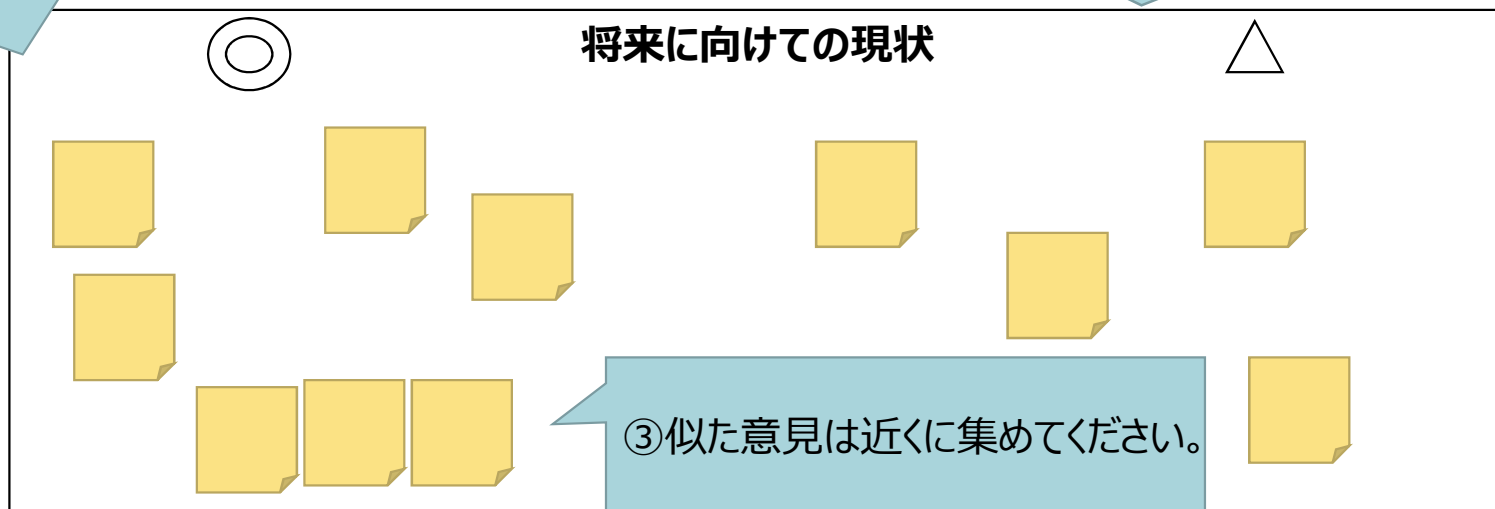
①産業振興（農林商工） ②防災・防犯 ③教育・文化 ④医療・福祉

⑤生活基盤 ⑥移住・子育て

ワークショップ^o 1 とは別の模造紙を用意してください。

②意見は付箋に書いて模造紙にはってください。
※一つの付箋に一つの意見を書いてください。
※話合いの中で思いついたことはどんどん書き出ししてください

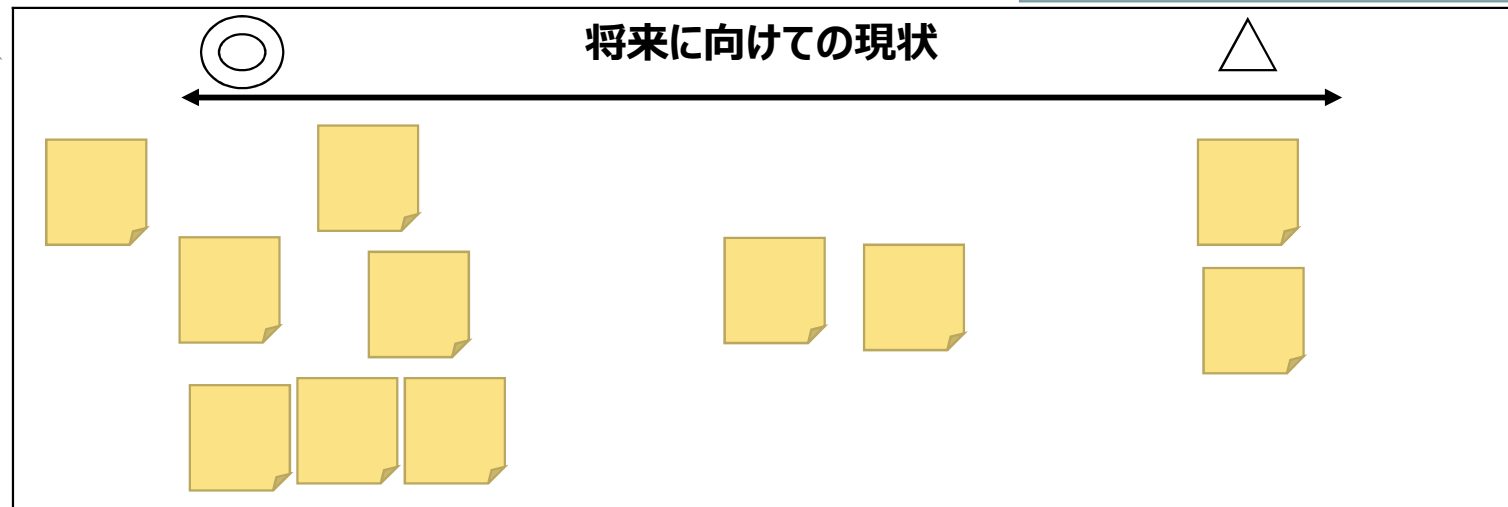
①大きな枠を書いて、見出し、記号を書いてください



意見がある程度出てきたら、それぞれの付箋について「**今ある良さを引き伸ばす点**」なのか「**課題を克服する点**」なのかを検討して並べ替えてください。

今ある良さを引き伸ばす意見を「◎」側にし、課題を克服する点」のものを「△」側に並べ替えてください

3 分間



ワークショップ°3 (村の将来像に 向けて必要な取 組は？)

ワークショップ 2 で整理した「村の将来像」に向けて「**今後の取組**」を整理します。

15 分間

ワークショップ方法

- ワorkshop 2 で出た「将来像」のうち、皆さんに関係する項目を取り上げる
- 取り上げた項目に対して、「村民ができること」、「行政ができること」を話し合う
- 皆さんの話し合いや考えによって出された意見を付箋にまとめ、模造紙に貼り付ける

模造紙は以下のようにして使用してください。



東成瀬村の将来 引き伸ばす点	村民ができること	行政ができること
課題を克服する点		

ありがとうございました

